

辻議員（共産）

平成27年12月10日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）少人数学級の拡大について

少人数学級の対象学年を、ひとまず小3まで引き上げてはどうか。

（答）

先ほど答弁申し上げましたように、小学校3年生まで35人学級とした場合、約7億円のあらたな負担が生じることとなります。

義務教育における少人数学級の推進は、国が責任をもって標準法の改正を行い、導入されるべきものと考えております。

国に対しまして、全国都道府県教育長協議会などを通じ、引き続き、標準法の改正による35人学級の導入を要望してまいります。